

工事監理状況報告書(木造軸組工法)

中間検査

年 月 日

(あて先) 建築主事

確認済証番号	年 月 日 第 号	確認機関名
" (変更)	年 月 日 第 号	確認機関名
工事場所	建築主氏名	

上記、工事中の建築物の工事監理状況について、建築基準法第12条第5項の規定により次のとおり報告します。

報告者	工事監理者	会社住所
		会社名
		報告者氏名

確認事項	確認を行う照合内容	工事監理者 確認結果 ※1	※2 検査員 記録		
			A : 目視検査	結果	
			B : 計測検査		
			C : 監理者報告		
1 確認表示板 (法89)	1 建築確認表示板の設置	適 : 不	A	適 : 不適	
2 工事現場の危害の防止 (90条)	1 仮囲い、防護ネット、山留	適 : 不	A	適 : 不適	
3 敷地の衛生及び安全 (法19)	1 がけ・擁壁の安全性、敷地の衛生及び安全	適 : 不	A : B : C	適 : 不適	
4 敷地と道路の関係 (法40 42 43)	1 道路の幅員	適 : 不	A : B : C	適 : 不適	
	2 道路に接する敷地の長さ	適 : 不	A : B : C	適 : 不適	
	3 敷地内通路、専用通路の幅及び長さ	適 : 不	A : B : C	適 : 不適	
	4 2項道路の後退	適 : 不	A : B : C	適 : 不適	
5 敷地形状、容積率、建ぺい率 (法52~54)	1 敷地形状及び高低差	適 : 不	A : B : C	適 : 不適	
	2 基礎形状・建物形状	適 : 不	A : B : C	適 : 不適	
	3 建物配置 (道路、隣地からの離れ)	適 : 不	A : B : C	適 : 不適	
6 斜線制限 (法56)	1 建築確認図書の立面図との照合	適 : 不	A : B : C	適 : 不適	
	2 道路、隣地、北側敷地境界線からの後退距離の確認	適 : 不	A : B : C	適 : 不適	
7 基礎・地盤(令38、告示1347)	1 設計図書通りの地耐力が得られたか 確認方法 (適 : 不	A : B : C	適 : 不適	
	2 地耐力が得られなかった場合の措置について 措置の内容 (適 : 不	A : B : C	適 : 不適	
	3 基礎種別の確認 (連続、べた、独立、杭)	適 : 不	A : B : C	適 : 不適	
	4 各部材の形状、寸法の確認	適 : 不	A : B : C	適 : 不適	
	5 配筋の確認 (径、間隔、かぶり、継手、定着、貫通補強等)	適 : 不	A : B : C	適 : 不適	
8 居室の床の高さ及び防湿方法 (令22)	1 床の高さ、床下換気口又これに代わる措置	適 : 不	A : B : C	適 : 不適	
9 主要構造部及び主要構造部 以外の構造耐力上主要な部 分に用いる材料 (接合材料 を含む)	1 木材、コンクリート、鉄筋、屋根材、外壁材、 接合金物等の種類・品質・形状・寸法	適 : 不 適 : 不 適 : 不	A : B : C A : B : C A : B : C	適 : 不適 適 : 不適 適 : 不適	
	10 土台 (令42)	1 基礎との緊結 (アンカーボルトの位置・接合方法)	適 : 不	A : B : C	適 : 不適
	11 柱 (令43)	1 柱の小径、有効細長比	適 : 不	A : B : C	適 : 不適
2 すみ柱又はこれに準ずる柱		適 : 不	A : B : C	適 : 不適	
12 横架材 (令44)	1 中央部下側の欠込み	適 : 不	A : B : C	適 : 不適	
13 筋かい(令45)	1 形状・寸法	適 : 不	A : B : C	適 : 不適	
	2 欠込み部の補強	適 : 不	A : B : C	適 : 不適	
14 構造耐力上必要な軸組等 (令46)	1 耐力壁の配置 (壁量計算書、軸組のバランスシフトとの照合)	適 : 不	A : B : C	適 : 不適	
	2 火打材	適 : 不	A : B : C	適 : 不適	
	3 小屋組の振れ止め	適 : 不	A : B : C	適 : 不適	
15 構造耐力上主要な部分であ る 継手又は仕口 (令 47)	1 筋かいの端部における仕口 (筋かいプレートによる接合)	適 : 不	A : B : C	適 : 不適	
	2 軸組の柱脚・柱頭の仕口 (ホルダ金物等による緊結)	適 : 不	A : B : C	適 : 不適	
	3 その他の継手又は仕口	適 : 不	A : B : C	適 : 不適	
16 防腐防蟻措置 (令49)	1 防腐・防蟻措置 (土台・柱・筋かい)	適 : 不	A : B : C	適 : 不適	

確認事項	確認を行う照合内容	工事監理者 確認結果 ※1	※2 検査員 記録	
			A : 目視検査	結果
			B : 計測検査	
			C : 監理者報告	
17 その他 ※3		適 : 不	A : B : C	適 : 不適
		適 : 不	A : B : C	適 : 不適
		適 : 不	A : B : C	適 : 不適
		適 : 不	A : B : C	適 : 不適
		適 : 不	A : B : C	適 : 不適
		適 : 不	A : B : C	適 : 不適
		適 : 不	A : B : C	適 : 不適
		適 : 不	A : B : C	適 : 不適
		適 : 不	A : B : C	適 : 不適

※4 指示内容	

検査に 必要な 図書	確認関係図書	■ 確認図書 ■ 告示第1347号による基礎構造図
		■ 告示1460号による継手・仕口の金物仕様等 □ 告示1352号による 1/4バラス計算書
	使用材料の品質を示す書類	□ コンクリート圧縮強度試験結果 □ コンクリートの品質（スランプ、空気量、塩化物）
		□ 鉄筋・鉄骨シールド □ 使用材料品質証明書
	工事監理報告書	■ 基礎配筋検査記録 □ 基礎配筋写真
※5	その他	□ 建て方完了時の検査記録 □ 施工要領書（工事監理者が承認したもの） □ 工事写真

※1 確認項目を現場でチェックし、適合は「適」に○印、不適合は「不」に○印を記入して下さい。（該当しない項目は記入しないでください）

※2 太線枠内は記入しないで下さい。

※3 確認事項の項目にないものは、「その他」の欄に記入してください。例として、増築等で既存改修がある場合には「その他」に記載します。

※4 確認結果で不適合がある場合は、その項目番号(例：3-1)と現場で指示した内容を、「指示内容」欄に記入してください。

※5 検査に必要な図書について、「■」の書類は必ず用意し、「□」は監理状況が確認できれば、それに代わる書類等でも可とします。